News Release

2022 年 8 月 5 日

ナノミストテクノロジーズ株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有するナノミストテクノロジーズ株式会社（本社：徳島県鳴門市、代表取締役社長：松浦 一雄、以下「ナノミストテクノロジーズ」）の株式を、株式会社エイチ・アール・オー（本社：北海道札幌市、代表取締役：本田 憲章、以下「エイチ・アール・オー」）及び株式会社四条（本社：新潟県十日町市、代表取締役：田村 信、以下「四条」）が運営する四条 7 号投資事業有限責任組合に譲渡することを決定し、このほど譲渡が完了したのでお知らせします。

ナノミストテクノロジーズ株式会社について

設立　：2002 年 10 月（2011 年 4 月に社名を超音波醸造所有限会社から変更）
本社所在地　：徳島県鳴門市
代表者　：代表取締役社長 松浦 一雄
事業内容　：霧化分離装置等の開発・製造・販売
URL:　：https://www.nanomisttechnologies.com/

株式会社エイチ・アール・オーについて

設立　：1995 年 4 月
本社所在地　：北海道札幌市
代表者　：代表取締役 本田 憲章
事業内容　：トンネル補助工法（AGF、HITM、フォアポーリング他）、NATM トンネル用防水シート、凍結防止工、土木資材販売
URL:　：https://h-r-o.net/

株式会社四条について

設立　：2013 年 12 月
本社所在地　：新潟県十日町市
代表者　：代表取締役 田村 信
事業内容　：事業会社に対する経営戦略コンサルティング、人材紹介、ファンドの運営・管理

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されました

が、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。
URL：http://www.incj.co.jp/

【別紙】

１．対象会社

・事業者名：ナノミストテクノロジーズ株式会社
・設立　　：2002 年 10 月（2011 年 4 月に社名を超音波醸造所有限会社から変更）
・所在地　：徳島県鳴門市
・代表者　：代表取締役社長 松浦 一雄
・事業内容：霧化分離装置等の開発・製造・販売
・URL　　：https://www.nanomisttechnologies.com/

２．支援決定内容

・支援決定公表日：2015 年 7 月 23 日
・支援決定金額　：5 億円
・実投資額　　：3.5 億円
・プレスリリース：ナノミストテクノロジーズ株式会社に対する共同出資について
https://www.incj.co.jp/newsroom/assets/1437554291.01.pdf

３．経緯

（1）　出資の経緯

ナノミストテクノロジーズは、清酒のアルコール濃縮技術から発展させた超音波によるミスト化分離技術の事業化を目指して 2002 年に設立されたベンチャー企業。同社の超音波ミスト化分離技術は、工場廃液などの多成分を含む混合液を超音波によりミスト化し、成分ごとに分離・回収するもので、加熱・加圧が不要で、省エネ、低コストで運用できることから、工場廃液処理や食品加工、海水淡水化など分離・回収技術を要する幅広い分野のニーズが見込まれた。産業革新機構（当時、以下「INCJ」）は、日本発のユニークなプラットフォーム技術である超音波ミスト化分離技術の事業化を支援するため、2015 年 7 月に 5 億円を上限とする支援を公表した。

（2）　事業の進捗

ナノミストテクノロジーズは、同社の超音波ミスト化分離技術の船舶排ガス処理装置への応用可能性を模索していたが、2018 年に環境規制が改正されたことに伴い、本事業からの転換を決断。工業用途での技術活用を目指し、工場排ガス・廃液の分離などに取り組んでいる。また、近年 SDGs・ESG への関心が高まる中、超音波ミスト化分離技術を用いた独自装置により、従来の化石燃料を大量に使用する蒸発・蒸留法に比べて、使用エネルギーを 3～7 割、CO2 排出量を 4～8 割削減することに成功するなど、脱炭素化にも取り組んでいる。

（3）　Exit の経緯・内容

初回投資から 7 年が経過し、その Exit の方法についてナノミストテクノロジーズと様々な協

議・検討を行っていたが、同社の更なる成長に資する事業基盤の強化などのため、INCJ は、保有するナノミストテクノロジーズの株式を、同社の協業企業であるエイチ・アール・オーと、環境領域において投資実績のある四条に対して譲渡することが最適であると判断し、このたびその譲渡が完了した。

４．<u>主務大臣（経済産業大臣）意見</u>

ベンチャー企業の有する革新的な技術を社会実装していくことは、我が国の基盤であるものづくり産業の発展において重要である。本案件に対する投資活動を通じて把握された課題を踏まえ、出資先企業の事業価値向上に向けたガバナンスのあり方等を改めて検討し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新投資機構　経営企画室 広報　　入江、奥村、野々宮（報道関係）
東京都港区虎ノ門 1-3-1　東京虎ノ門グローバルスクエア
電　話：03- 5532-7086　　URL：https://www.j-ic.co.jp/jp/
https://www.incj.co.jp/